

マツ材線虫病から三保松原を守るため

# 薬剤散布を行います（2回）

1回目 5月17日（火）、18日（水）、19日（木） 予備日 20日（金）

2回目 6月7日（火）、8日（水）、9日（木） 予備日 10日（金）

感染力が非常に強い「マツ材線虫病」から三保松原を守るため、健全木に対して薬剤を散布し、病気を媒介するマツノマダラカミキリの成虫を殺虫します。

散布予定日  
と散布場所

- 1日目： 三保グランドホテル～三保飛行場
- 2日目： 旧東海大学附属小学校～瀬織戸神社
- 3日目： 神の道

散布時間

- （早朝）午前4時～午前10時

散布薬剤

- アセタミプリド液剤（マツグリーン®液剤2）

散布方法

- 地上散布では、100倍に希釈した薬剤を散布
- 無人航空機（ドローン）では、10倍に希釈した薬剤を散布
- 午前7時以降は民家の少ない海岸線を実施

雨天等により  
順延した場合

- 翌日以降に1日ずつ順延して行います。  
（土、日、月は除く）
- 散布区域内に設置した注意看板やみほしるべのHP、Twitter等  
でお知らせします。

## ～ 薬剤散布期間中のお願い ～

- ・ 散布当日は終了後であっても散布区域内に入らないでください
- ・ 窓は必ず閉めてください
- ・ 洗濯物やペットは室外に出さないようにしてください
- ・ 池や井戸はビニール等で覆ってください
- ・ 早朝から騒音で御迷惑をおかけしますが、御理解願います

## Q もしも、体調が悪くなってしまったら

使用する薬剤は、農薬取締法に基づき登録されている安全性の高いものですが、人によって薬剤による影響の程度が異なりますので、万一体調が悪くなるようなことがありましたら最寄りの医療機関で処置を受け、下記の連絡先に御連絡ください。

- 連絡先はこちら ⇒ 静岡市文化財課 三保松原文化創造センター  
静岡市清水区三保 1 3 3 8 番 4 5 号  
TEL 0 5 4 - 3 4 0 - 2 1 0 0

## Q 処置方法等に関する相談窓口は

公益財団法人日本中毒情報センターに御相談ください。

- 大阪中毒 110 番（年中無休・24 時間対応）0 7 2 - 7 2 7 - 2 4 9 9
- つくば中毒 110 番（年中無休・9 時～21 時）0 2 9 - 8 5 2 - 9 9 9 9

## Q 薬剤散布の方法などについて

薬剤散布の方法や、注意する点などについては、下記の実施業者にお問い合わせください。

- 連絡先はこちら ⇒ 有限会社 東海造園 担当：神部  
Tel：0 5 4 - 3 6 9 - 2 1 1 9

## Q 三保松原の松林保全について

三保の松林の保全に関しては、下記の連絡先にお問い合わせください。

- 連絡先はこちら ⇒ 静岡市文化財課 三保松原文化創造センター  
静岡市清水区三保 1 3 3 8 番 4 5 号  
TEL 0 5 4 - 3 4 0 - 2 1 0 0

## ～松枯れ拡大防止のお願い～

- 松を個人で伐採する場合は、そのまま放置せず、必ず焼却等の処分をお願いします。  
※ 放置するとカミキリムシが産卵し、翌年に被害が拡大します。
- 枯れた松が何か月もそのまま放置されている場合は、お手数ですが、三保松原文化創造センター（Tel：3 4 0 - 2 1 0 0）まで御連絡をお願いします。

マツ材線虫病被害を撲滅するために、御理解・御協力をお願いします

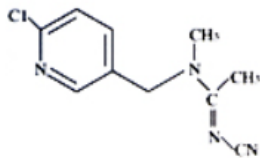
## ※マツグリーン®液剤 2 について

農林水産省登録 第20838号

成分含有量 アセタミプリド……2.0%

性状 無色澄明水溶性液体

構造式



### マツグリーン®液剤 2 の主な特徴

- ①低薬量で、マツノマダラカミキリ成虫に優れた効果。
- ②新枝への浸達性があり、耐雨性にも優れる。
- ③人や環境に悪影響が少ない。
- ④においや汚れがほとんどない。
- ⑤環境中への残留が少ない。
- ⑥周辺作物に薬害の心配がほとんどない。

詳しくはこちら



## ※無人航空機（ドローン）の使用について

三保松原では、薬剤散布をより効果的かつ安全に実施するため、従来の無人ヘリ散布を令和元年度から3年度にかけてドローン散布に替える実証実験を行いました。

その結果、無人ヘリと比べ、より効果的で安全性が高いことが確認されたことから、継続してドローンによる散布を実施しつつ、今後も散布の検証を行っていきます。



ドローンによる散布状況

# 三保松原の松林保全に関するミニ講座

## 1 マツ材線虫病とは

世界4大樹木病害の一つとされる、大変感染力の強い松の伝染病です。クロマツ・アカマツ・リュウキュウマツが特に被害を受けやすく、発症した松は主として夏～秋に掛けて急速に葉が赤変して枯死します。

病原体は「マツノザイセンチュウ」という体長1mm程度の線虫で、媒介者である「マツノマダラカミキリ」が松の枝をかじることで被害が拡大していきます。

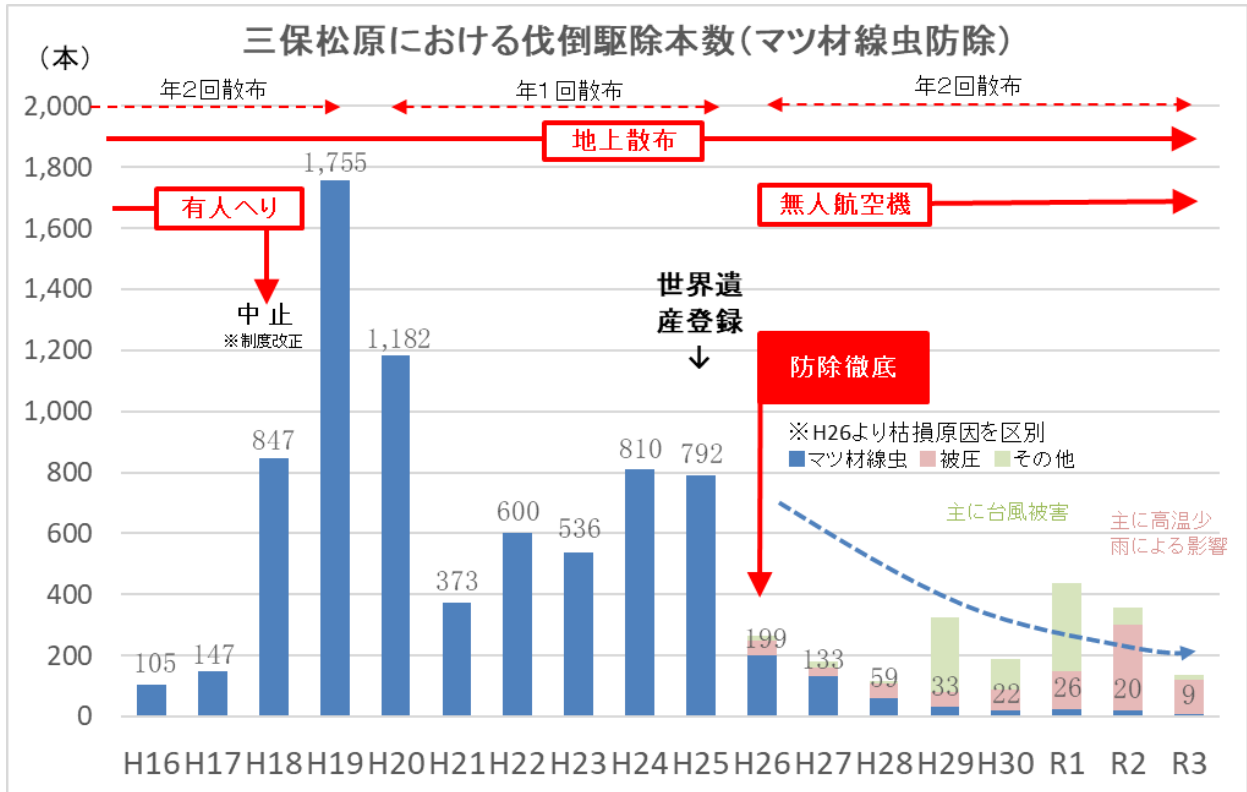


松の枝をかじるカミキリ

## 2 三保松原のマツ材線虫病被害の現状

三保松原では半世紀以上前から被害が確認されており、近年では平成19年度をピークとして大きな被害が発生しました。当時1,755本の枯松がありましたが、平成26年度以降、無人航空機による防除等により防除を徹底したことで、平成30年度以降は20本台にまで減少しています。

しかし、いまだ松原内にマツノマダラカミキリの生息が確認されており、決して楽観視できる状況ではありません。



※注1：令和3年度は3月処理分まで 注2：棒グラフ上の数値はマツ材線虫病被害本数を示す。

### 3 マツ材線虫病の被害から守るための対策

被害拡大を防止するために、下記の対策を行っています

- 【伐倒駆除】次の年のカミキリの発生を防ぐために、被害木を伐倒し、材内のカミキリを駆除します
- 【薬剤散布】羽化したマツノマダラカミキリの成虫を殺虫するために、健全な松への薬剤散布を行います
- 【予防剤樹幹注入】線虫の増殖を防ぐため、予防剤を松の幹に注入します

#### 年間スケジュール（予定）

対 策	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
薬 剤 散 布												
	カミキリの羽化時期に合わせ、5月と6月に各1回散布します											
伐 倒 駆 除												
	枯損状況により、年3~4回伐倒します											
予 防 剤 樹 幹 注 入												
	松が薬剤を吸収しやすい冬期(1月中旬以降)に注入します											